



平成27年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成27年2月12日

上場取引所 東

上場会社名 特殊電極株式会社

コード番号 3437 URL http://www.tokuden.co.jp

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 高田 芳治

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 高島 良成 TEL 06-6401-9421

四半期報告書提出予定日 平成27年2月13日 配当支払開始予定日 ー

四半期決算補足説明資料作成の有無：無

四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第3四半期の連結業績（平成26年4月1日～平成26年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第3四半期	6,007	5.6	178	17.0	197	19.7	96	113.7
26年3月期第3四半期	5,687	△0.2	152	43.4	165	31.6	45	29.0

(注) 包括利益 27年3月期第3四半期 114百万円 (6.2%) 26年3月期第3四半期 107百万円 (91.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第3四半期	12.07	ー
26年3月期第3四半期	5.65	ー

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年3月期第3四半期	6,570	3,229	48.7	399.62
26年3月期	6,769	3,171	46.3	391.73

(参考) 自己資本 27年3月期第3四半期 3,200百万円 26年3月期 3,136百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	ー	3.50	ー	3.50	7.00
27年3月期	ー	3.50	ー		
27年3月期(予想)				3.50	7.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成27年3月期の連結業績予想（平成26年4月1日～平成27年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	8,090	3.3	208	△0.8	218	△2.6	102	ー	12.77

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	27年3月期3Q	8,010,000株	26年3月期	8,010,000株
② 期末自己株式数	27年3月期3Q	2,094株	26年3月期	2,094株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	27年3月期3Q	8,007,906株	26年3月期3Q	8,007,906株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続を実施しています。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、原油安の影響や政府による経済政策で雇用情勢や企業収益の改善が見られることから、緩やかな回復傾向となりました。しかしながら、新興国における経済の停滞問題や原材料価格の高騰、さらに平成26年4月からの消費税増税の影響により、国内経済は依然先行き不透明な状況で推移いたしました。

このような状況のもと当社グループは、引き続き営業部門におきましては、直販体制を活かした販売強化推進と技術部門との連携による顧客開拓を展開して、業績の向上に鋭意努力してまいりました。

生産工場及び工事工場におきましては、安全第一のもと作業効率の向上とコスト削減に努めてまいりました。

また、研究開発などの技術部門におきましては、新技術の開発をより推し進め、研究成果の実用化に努めてまいりました。

その結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は6,007百万円（前年同四半期比5.6%増）となりました。また、損益面におきましては、営業利益は178百万円（同17.0%増）、経常利益は197百万円（同19.7%増）、四半期純利益は96百万円（同113.7%増）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

① 工事施工

積極的な提案型営業と徹底した品質管理、コスト削減により、受注拡大に努めました結果、トッププレート工事、プラズマ粉体肉盛工事、鉄鋼関連の保全工事は減少しましたが、連続鑄造ロール肉盛工事、粉碎ミル工事、アルミダイカスト関連工事の受注が増加した結果、売上高は4,213百万円（前年同四半期比4.4%増）、セグメント利益は413百万円（同18.3%増）となりました。

② 溶接材料

直販体制による販売の強化及び新規案件の受注拡大、コスト削減に努めました結果、製品においては当社の主力でありますフラックス入りワイヤの売上高は449百万円（前年同四半期比0.7%増）、また、商品のアーク溶接棒、TIG・MIGなどの溶接材料の売上高は705百万円（同3.8%増）となり、溶接材料の合計売上高は1,155百万円（同2.6%増）、セグメント利益は216百万円（同5.5%増）となりました。

③ その他

自動車関連の環境関連装置の受注は増加しましたが、アルミダイカスト関連部品の受注が減少した結果、売上高は639百万円（前年同四半期比21.7%増）、セグメント利益は33百万円（同24.7%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は5,083百万円となり、前連結会計年度末に比べ169百万円減少しました。これは、受取手形及び売掛金40百万円、商品及び製品62百万円の増加がありましたが、現金及び預金237百万円の減少が主な要因です。固定資産は1,487百万円となり、前連結会計年度末に比べ29百万円減少しました。これは、有形固定資産41百万円の減少が主な要因です。

この結果、総資産は、6,570百万円となり、前連結会計年度末に比べ199百万円減少しました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は2,435百万円となり、前連結会計年度末に比べ258百万円減少しました。これは、短期借入金20百万円の増加がありましたが、支払手形及び買掛金等158百万円、未払法人税等120百万円の減少が主な要因です。固定負債は905百万円となり、前連結会計年度末に比べ0百万円増加しました。

この結果、負債合計は、3,340百万円となり、前連結会計年度末に比べ257百万円減少しました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は3,229百万円となり、前連結会計年度末に比べ58百万円増加しました。これは利益剰余金40百万円の増加が主な要因です。

この結果、自己資本比率は48.7%（前連結会計年度末は46.3%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、当初の計画通りに推移するものと考えており、現時点におきましては、平成26年5月19日発表の業績予想に変更はありません。今後、業績予想に関して修正の必要性が生じた場合には速やかに開示いたします。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

(退職給付に関する会計基準等の適用)

「退職給付に関する会計基準」(企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。)及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。)を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、割引率の決定方法を割引率決定の基礎となる債券の期間について従業員の平均残存勤務期間に近似した年数を基礎に決定する方法から退職給付の支払見込期間及び支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率を使用する方法へ変更しました。

これに伴う当第3四半期連結累計期間の期首の利益剰余金及び当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益への影響はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,356,053	1,118,751
受取手形及び売掛金	2,742,441	2,783,077
商品及び製品	522,331	584,981
半成工事	336,817	327,945
原材料及び貯蔵品	93,773	87,204
その他	201,640	181,422
貸倒引当金	△41	△40
流動資産合計	5,253,016	5,083,342
固定資産		
有形固定資産	1,160,281	1,118,581
無形固定資産	75,700	64,111
投資その他の資産	280,581	304,363
固定資産合計	1,516,563	1,487,056
資産合計	6,769,580	6,570,398
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,830,488	1,672,130
短期借入金	340,000	360,000
未払法人税等	126,123	5,593
賞与引当金	159,423	80,594
工事損失引当金	12,798	14,574
その他	224,420	302,236
流動負債合計	2,693,253	2,435,129
固定負債		
退職給付に係る負債	474,889	499,690
その他	430,187	405,981
固定負債合計	905,076	905,672
負債合計	3,598,330	3,340,801
純資産の部		
株主資本		
資本金	484,812	484,812
資本剰余金	394,812	394,812
利益剰余金	2,185,346	2,225,947
自己株式	△379	△379
株主資本合計	3,064,591	3,105,193
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,311	13,070
為替換算調整勘定	109,873	120,270
退職給付に係る調整累計額	△40,802	△38,434
その他の包括利益累計額合計	72,382	94,907
少数株主持分	34,276	29,497
純資産合計	3,171,249	3,229,597
負債純資産合計	6,769,580	6,570,398

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
売上高	5,687,486	6,007,932
売上原価	4,208,462	4,457,302
売上総利益	1,479,023	1,550,629
販売費及び一般管理費	1,326,354	1,371,961
営業利益	152,669	178,668
営業外収益		
受取利息	1,197	897
受取配当金	1,620	2,014
雇用安定助成金	5,989	—
為替差益	—	6,195
スクラップ売却益	2,823	5,158
駐車場収入	2,262	2,073
その他	4,816	5,216
営業外収益合計	18,709	21,555
営業外費用		
支払利息	1,867	1,763
為替差損	3,570	—
駐車場収入原価	738	703
営業外費用合計	6,177	2,467
経常利益	165,201	197,756
特別利益		
固定資産売却益	—	3,752
特別利益合計	—	3,752
特別損失		
固定資産売却損	—	53
固定資産除却損	698	514
減損損失	16,279	625
特別損失合計	16,977	1,194
税金等調整前四半期純利益	148,223	200,314
法人税、住民税及び事業税	88,121	83,647
法人税等調整額	15,524	29,179
法人税等合計	103,645	112,826
少数株主損益調整前四半期純利益	44,577	87,487
少数株主損失(△)	△650	△9,169
四半期純利益	45,228	96,657

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	44,577	87,487
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	7,995	9,759
為替換算調整勘定	55,199	14,788
退職給付に係る調整額	—	2,368
その他の包括利益合計	63,195	26,915
四半期包括利益	107,773	114,403
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	108,653	119,182
少数株主に係る四半期包括利益	△879	△4,779

（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。